

2023年 プログラム近況報告書

エスワティニ ゲゲ地域開発プログラム

温かいご支援をありがとうございます



ゲゲ地域の子どもたちをご支援いただき、ありがとうございます。チャイルド・スポンサーの皆さまの温かいご支援によって、子どもたちの生活が改善され、また地域全体もより安全になっています。

M. M. M. M.

ムサ・ムクマネ
ゲゲ 地域開発プログラムマネージャー

ご支援によって、チャイルドや地域の人々に

1, 856

地域の1,856世帯が衛生に関する研修を受けました。今では、家にせっけんを使える手洗い場ができ、子どもたちが病気から守られるようになりました。

5, 117

地域住民5,117人が、子どもの保護について学びました。地域のおとなが子どもの保護について知ることによって、子どもが暴力、育児放棄、虐待から守られるようになります。

エスワティニ : 日本 出典：国連開発計画 (UNDP) 2020年、2022年；国際労働機関 (ILO) 2022年

平均就学年数



5.6



13.4

1日1.90米ドル未満
で暮らす人の割合



29.2%



0.7%

失業率



22.7%



2.8%



「以前は、女の子が学校を途中で辞めてしまうのは、珍しいことではありませんでした。でも青少年クラブに参加して、私たちは教育の大切さを知りました。学校に通ったことで自分に自信がついて、未来への希望が持てるようになりました」
テラムシルちゃん、14歳

大きな変化をもたらされています

56

地域で56のユースグループ（若者のグループ）が作られ、10代の子どもたちにとって安全で楽しい場所となっています。子どもたちは、仲間を作り、新しい技術やスキルを学び、実践し、子どもの権利や保護を促進する活動にも取り組んでいます。

600

地域の若者600人が栄養に関する研修に参加し、栄養バランスの良い食事や、家庭栽培の方法について学びました。若者の健康状態の維持・改善につながっています。

2009
開始

準備期
地域との関係構築やニーズ調査、計画策定をします

第1期
土台やしくみを作ります

第2期
知識・技術を身につける活動を行います

2023
第3期
評価・見直しをしつつ活動を進めます

支援卒業準備期
支援の終了を意識し、活動が持続できるよう整えていきます

2025
終了予定

支援終了予定日や活動の目標は、予期しない突発事項やプログラムの進捗状況により、変更される場合があります。

「きれいな水を使えるようになって
とてもうれしいです」



「わたしたちが住む地域には、近くにきれいな水をくめるところがありませんでした」と話すのは、13歳のジュアナちゃん（写真左）です。「以前は家族が使う水をくむために、遠くの川まで行かなければならなかったし、その川は動物も使っていたので汚れていました」

チャイルド・スポンサーの皆さまの温かいご支援により、ジュアナちゃんの地域には水施設が整備され、今では家の近くで安全な水を得ることができています。「きれいな水を使えるようになって、とてもうれしいです。汚れた水を飲んで病気になったり、学校を休んだりすることもなくなりました」とジュアナちゃん。

「遠くまで水くみに行かなくてすむようになったので、家の手伝いをしたり、勉強をする時間も増えました。新しく始めた家庭菜園では、もう野菜を買わなくてもいいくらいたくさん収穫できています」



QRコードから、「マイ ワールド・ビジョン」にご登録いただくと、チャイルドと支援地域の情報がご覧いただけます

パソコンからは、トップページの「支援者の皆さまへ」に進み、「アカウントの作成」ボタンからもお手続きいただけます

ご支援により、子どもたちを
取り巻く環境が改善されています

エスワティニ ゲゲ地域開発プログラム (SWZ-189622)

2022年度 (2021年10月1日～2022年9月30日)

会計報告

プログラム支援額	(単位:円)
チャイルド・スポンサーシップ当期支援額	47,480,548
前期からの繰越額	62,227
プログラム支援額合計	47,542,775

プログラム支出額	
水・衛生プロジェクト	24,324,606
保健・栄養プロジェクト	7,776,291
スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト	15,114,157

プログラム支出額合計	47,215,054
次期繰越額	327,721

活動内容

 水・衛生プロジェクト
<ul style="list-style-type: none"> 水および衛生施設の整備 衛生教育の実施 コミュニティでの衛生施設管理委員会の育成
 保健・栄養プロジェクト
<ul style="list-style-type: none"> 住民組織への衛生や栄養改善に関する研修 妊産婦および新生児のケア活動 母子保健サービスに必要な物品の提供
 スポンサーシップ・マネジメント・プロジェクト
<ul style="list-style-type: none"> 手紙や成長報告を通じたチャイルドとの交流 チャイルドの定期的なモニタリング 「子どもを中心とした開発」についての啓発活動



お問い合わせ
特定非営利活動法人 ワールド・ビジョン・ジャパン
TEL : 03-5334-5351



Eメール : dservice@worldvision.or.jp
ホームページ : www.worldvision.jp